



図書館・郷土資料館だより

図書館 問・申 ☎ (61) 3002 休館日 9/ 2・5・9・17・24・30
郷土資料館 問・申 ☎ (61) 4700 休館日 9/ 1・2・9・17・24・30



図書館情報

令和6年度教養講座 『現代詩と向き合おう その愉しみ方』

元座間市立図書館長で、詩人の金井雄二氏を講師に迎え、詩の発生から、現代の詩に至るまでを学びます。また、現代詩について、作品から読み解きます。(全2回)

- ▶とき ①9月21日(土) ②9月28日(土)
いずれも13時30分～15時
- ▶ところ 図書館本館2階大会議室
- ▶講師 金井 雄二氏(著書『朝起きてぼくは』『げんげの花の詩人、菅原克己』ほか)
- ▶定員 40人(先着順)
- ▶申込み 9月3日(火)～

新しい絵本との出会い「ブックスタート」

図書館では、4か月の赤ちゃんとお保護者の方を対象にブックスタートを開催しています。

ブックスタートとは、赤ちゃんとお保護者が絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを作る活動です。

保健センターで行われる4か月児健診終了後、ボランティアと職員が絵本の読み聞かせを行い、選んでもらったお気に入りの1冊と、図書館利用案内、布製バッグ等をプレゼントしています。

健診でブックスタートに参加できなかった方も、後日受けることができます。希望日前日までに図書館までお問合せください。

大磯町に関する本を紹介【大磯ふるさと往還】

大磯町のことをもっと知りたい方におすすめの特集です。ホームページで“郷土資料”をクリック、さらに興味のあるテーマへ進んでください。

「大磯町の概略」「国府祭」「大磯ゆかりの文学者」などさまざまなテーマで、蔵書を紹介します。テーマは、随時更新します。



#いそちゃんおすすめの1冊



明治期の大磯を中心とした湘南を舞台とし、美食家であり作家の村井弦斎が、医師助手の山田文彦、尾崎多嘉子とともに怪事件を紐解く推理小説。

嶋立庵、禰龍館など大磯に実在した建造物や在住の人物が数多く登場する。



美食探偵
火坂 雅志／著
講談社

郷土資料館情報

ワークショップ 「^{かっちゅう}甲冑を着てみよう! ～日本の甲冑のお話と模擬甲冑の試着～」

皆さんは甲冑にどんなイメージを持っていますか？郷土資料館のエントランスホールには、伊藤博文から大磯小学校へ贈られたと伝わる甲冑を展示しています。もともとは武具である甲冑ですが、日本の甲冑は金工や漆芸、組紐など様々な技術が使われ、美術品としても鑑賞されます。

時代によってその様式が変化してきた甲冑。ワークショップでは、甲冑の移り変わりや仕組みについて、神奈川県立歴史博物館学芸員の梯弘人さんからお話しいただき、実際に模擬甲冑(手作り甲冑)に触れることによって、甲冑に関する理解を深めます。

- ▶とき 10月12日(土) 13時30分～15時30分
- ▶ところ 郷土資料館研修室
- ▶対象 興味のある方ならどなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
- ▶定員 15組(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶申込み 9月3日(火)から、郷土資料館窓口及び電話(61-4700)で受付

※模擬甲冑の試着は状況に応じて、数名に限らせていただく可能性があります。

大磯小学校に贈られた伊藤博文の甲冑

伊藤博文の甲冑は、もともと大磯小学校の校長室にありました。

伊藤は初代内閣総理大臣を務めた明治時代の政治家で、西小磯に本邸「滄浪閣」を構えていました。現在の教科書にも登場する著名人ですが、地元との交流が深く、大磯小学校に500円を寄付するなど、子どもたちの教育にも関心がありました。

大磯小学校には甲冑の他、ステッキ、帽子など、伊藤から多数の品々が贈られました。これらの貴重な資料は、現在、郷土資料館で保管しています。



▲伊藤博文所有の甲冑
大磯小学校校長室で撮影